

WFOT Congress 2014 プレコンgressワークショップ
ワークショップ概要

セッションカテゴリー	半日ワークショップ
セッションコード	PW 04
セッションタイトル	<p>フォトボイス(Photovoice):参加型手法と視覚映像法を用いた作業参加促進をめざす協同</p> <p>Photovoice: Collaborating to promote engagement in occupation through participatory and visual methods</p>
セッション企画者	Eric Asaba
キーワード	コミュニティベースの実践, 革新と挑戦, 社会的弱者
ワークショップ概要	<p>学習目標:ワークショップの参加者は以下のことができるようになります:1) フォトヴォイス法を用いたプロジェクトの概念, 方法および可能性を理解する, 2) フォトヴォイス法を分析し応用する(最小限 2 種類の手法に対して), 3) 作業療法や作業科学の実践領域における一つのアプローチとしてのフォトヴォイス法を説明し分析する, 4) 共通の関心事を共有する作業療法士たちとの国際的な交流のきっかけをつくる.</p> <p>内容:フォトヴォイス法は, 人々が意味のある作業に適切に取り組めるように, 多様な協力関係での仕事をする際の大きな可能性を臨床家, 研究者, 教育者に提供しています. 伝統的な研究手法に対する批判は, 草の根レベルでの知識の集積とそれらを全く新しい方法で応用する今までとは異なる手法を探すべきかっけとなりました. フォトヴォイス法の活用は, 視覚的な情報と言葉による説明を組み合わせることで, 多様な背景をもつ人々が協力して, 研究計画を作成し疑問を明らかにすることを可能にしてくれます. このワークショップでは, 理論的原理やグループ演習を含めて, 加齢と移住に関連するプロジェクトを例示します.</p> <p>指導法:混合的な指導手法を用います. 例えばフォトヴォイスの手法である, 視覚素材の「構成」(framing)や写真の宝探し(photo treasure hunt)などを試行する機会を得ます. また, グループワークではフォトボイス法のプロセスを促進あるいは阻害する要因をさらに理解するために, スウェーデン, 日本, カナダでの経験例について討論します. このワークショップはグループの積極的な参加, および臨床と研究で利用できるスキルの開発にもとづいています. ワorkshopの実践面への貢献:実施過程における作業の協同構築および積極的な取り組みを重視することは, 作業療法のもつ理念的な価値を共有することにつながります. 研究と治療はそれぞれ異なる目標を持ちますが, 両者に交差する多くの価値観には相互の関連性が秘められています.</p>
人数	～ 30